医科協会が実態を調査

「非受け入れ病院」も対応

知事の「コロナ初期治療要請」を批判

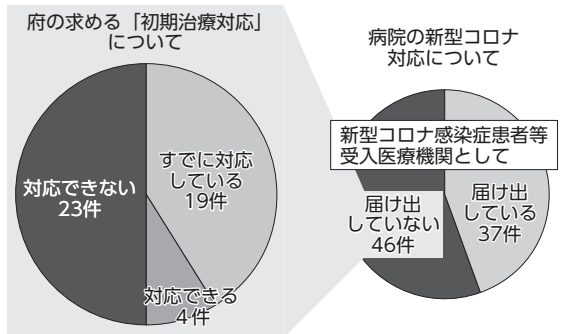
大阪府保険医協会は府内の病院に調査し、新型コロナ患者の受け入れ病院以外の病院でも、「コロナ患者への初期治療対応」を行っている実態を明らかにした。調査は大阪府の吉村洋文知事が4月中旬、新型コロナウイルス患者を受け入れていない病院に対し、コロナの初期治療を（自院の）入院患者に行うよう求めたことを受け、実施した（4月19日～22日）。新型コロナ患者の受け入れ医療機関として届け出済みの37病院、届け出していない46病院から回答があった。

「初期治療対応」について自院での取り組みを尋ねたところ、「届け出していない」病院であっても「すでに対応している」が19施設に上った。また、「対応できない」と回答した病院においても「自院で発生したものは対応する」とする回答もあった。

届け出していない理由を尋ねると、ゾーニング確保といった「病院の構造上の問題」（28件）、「人員が割けない（27件）が多くを占めた。「単科のため対応困難」との声も複数あった。

医科協会の宇都宮健弘理事長は、「多くの病院が入院患者の手術や治療を行いながら、感染患者への対応にもあたっている。新型コロナ患者に全く関わっていない病院はほぼ存在しない」と吉村知事の発言を批判した。

受入医療機関として届け出ていない病院の実態



女性の合格者45・9％に

数字で見る歯科国試③

2022年の歯科医師国家試験の男女別合格者数は、男性1065人（54・1％）、女性904人（45・9％）だった。2009年の女性の割合は40・9％だったことを踏まえれば、十数年で5ポイント増加した。

一方で、合格者数が減少・停滞傾向にあることから、男性と同様に女性の合格者数も減少。09年の男性1409人、女性974人から大きく減らしている。

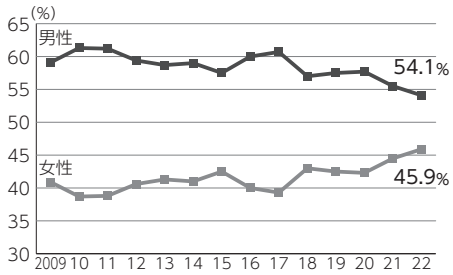
合格率では、22年は男性の57・4％に対し、女性は67・4％と高くなっている。〝男低女高〟の傾向は長年変わらず、女性の方が10ポイント前後高い合格率を維持している。

合格者数の男女差の縮小は、当然のことながら歯科医師数の男女差にも表れている。2020年の年代別の女性歯科医師の割合は、30代は36・5％、20代は46・4％とおおむね半数が女性になっている。

今後の歯科医療界を展望すれば、性別を問わずに歯科医師として働き続けられる環境づくりが急務といえる。

（おわり）

歯科国試の合格者の男女割合



関西ウォッチング③

芦屋・ヨドコウ迎賓館

ライト建築を隅々まで

小高い丘に建つヨドコウ迎賓館。近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトが手掛けた

新型コロナの新規感染者数が落ち着いているとはいえ高止まりしている現在、遠出を控えて近場のスポットの散策はどうだろう。

芦屋の小高い丘の上に「ヨドコウ迎賓館」がある。帝国ホテルを手掛けたことで有名なアメリカ人のフランク・ロイド・ライトが設計した。帝国ホテルと同じように大谷石をふんだんに使い、来日している時に同時並行的に日本の弟子たちと共同で制作された作品群の一つである。ライトの設計で建設当初の姿を現在まで留めているのは、日本では東京・池袋の自由学園明日館とヨドコウ迎賓館だけだ。

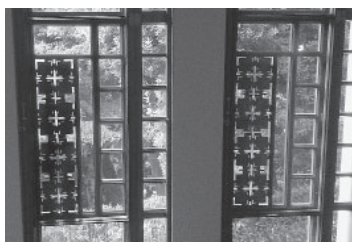
時代は1924（大正13）年、灘の酒造家・山邑太左衛門の別邸として完成した。第一次大戦の後に急に金回りが良くなって、外国の有名人を呼んで立派な建物を造ってもらおうとなったのだろうか。成金と言われる人たちが横行した時代、バブル期に似ていたと思う。

もとは個人住宅のため、見学するのにそう時間はかからないが、隅々まで見せてくれる。写真は撮り放題だから、ライトの作品をじっくり堪能できる。見どころは四葉をデフォルメした銅板の装飾。ガラスや石に埋め込まれている。当時としては大変珍しい大型の長方形のガラス板をはじめ、天然光をふんだんに取り込める設計になっている。尾根に沿って建っているため、芦屋の街並みから大阪湾、天気が良ければ紀州の海岸まで見え、景色は抜群である。

ただ、現在の有名な建築家にもいえるが、見栄えは確かに良いが、住みづらさを感じてしまう。天然光へのこだわりからか照明が少なく、夜は暗そうだ。尾根の上、石造りの空間は冬になればさぞかし寒そうである。そんなことを妄想しながら見学した。皆さんもいろいろ想像しながら見学できるのではないか。

場所は、阪急芦屋川駅が一番近い。駅から川を北上し、300メートルほどである。開館は、水・土・日・祝だけなので注意が必要。いずれも午前10時～午後4時。入館料は500円、駐車場有り。

（新聞部・谷聰）


四つ葉をデフォルメした幾何学的な装飾

協会行事案内

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M＆Dホールは保険医会館東隣りです。

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ

【Zoom限定】歯科衛生士向け・会員も参加可

北欧モデルの齲蝕予防の考え方

日時　6月5日（日）午前10時～午後1時
講師　西真紀子氏（NPO法人「最先端のむし歯・歯周病予防を要求する会」（PSAP）理事長）
会費　5千円　**定員**　100人

会員本人限定（2020年春以降開業者のみ）

新規個別指導対策講習会＆「歯初診」施設基準研修会

日時　6月11日（土）午後6時～8時
会場　保険医会館5階
講師　社保研究部講師団　**定員**　20人
会費　2千円
持参物　『カルテ記載を中心とした指導対策テキスト2021年2月版』

※新型コロナウイルス感染防止のため参加条件を「2020年春以降開業の会員のみ」に限定しています。

保険でよい歯科医療を大阪連絡会・市民講座

『ヤングケアラー』を知っていますか？

日時　6月12日（日）午前10時～正午
会場　M＆Dホール
講師　濱島淑恵氏（大阪歯科大学教授）
会費　無料　**定員**　現地60人＋Web

【Zoom限定】6月度生涯研修

訪問診療への取り組み（デンチャースペース義歯）

日時　6月19日（日）午前10時～午後1時
講師　大谷学氏（東大阪市開業）
会費　3千円、未入会者1万円　**定員**　100人

大阪市西部・南部地区講習会　スタッフ向け

医療接遇研修

日時　6月19日（日）午前10時～午後1時
会場　保険医会館5階　**定員**　20人
講師　吉田富貴子氏（接遇マナーインストラクター）
会費　3千円

無料相談

法律　6月6日（月）午後2時～4時
税務　6月15日（水）午後2時～5時
雇用　6月16日（木）午後2時～4時

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。